

Pickup! キルギスに到着！

私の任地であるキルギスの首都ビシュケクに到着しました。とても綺麗な国でまるでヨーロッパのようです。



独立したら「途上国」になったキルギス

キルギスは旧ソ連国で、当時のソ連はもちろん先進国。キルギスのインフラは整備され、荘厳な美しい建物があちこちに建てられました。1991年ソ連解体に伴って、キルギスは独立を果たしました。自分の国ができるのはうれしいことですが、それと同時に「先進国」から「途上国」になりました。突然、資本主義社会の中に放り出され、自分たちで国を統治していかなければならなくなったわけです。

表層的にはインフラは整っているのに、人々は貧乏で主要な産業がないという矛盾をはらんだ国です。だからこそ、「教育」「英語」に力を入れることが重要です。それが私がこの国にボランティアに来た意味なのかもしれません。

INDEX

- キルギスに到着！
- キルギスに来て驚いたことTop3

キルギス語ミニ講座

キルギスはロシア語とキルギス語の2か国語が飛び交う国。

キルギスに来る前はロシア語のみを勉強していましたが、今は同時にキルギス語も勉強しています！

●ロシア語

「インド・ヨーロッパ語族」：英語の親戚

●キルギス語

「チュルク語族」：トルコ語の仲間
つまり、全然似ていない！キルギス人はロシア語とキルギス語を混ぜて話す人も多く、言語のスイッチを切り替えるのが早い。

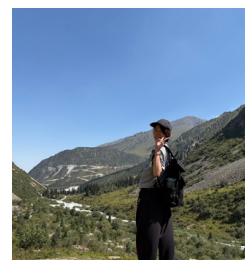
ちなみに、キルギス語の語順は日本語と同じ。超マイナー言語だけど、日本語話者にはキルギス語のほうが簡単かも！ぜひキルギス語を学んでみてね。

Саламатсызбы (サラスズビ) こんにちは
Рахмат (ラマット) ありがとう

Pickup! キルギスに来て驚いたことTop3

3 道路に突然の穴

一見すると綺麗なキルギスですが、道路では油断禁物！前も左右も、そして「下」も見えて歩かないと突然出現する穴に落ちます…。これが夜に暗くなったり冬に積雪したりすると…？危ないですね！



2 予定がコロコロ変わる

日本では予定を立てて計画的に物事を行うことに重きが置かれますが、キルギスでは予定は変更するもの。私は振り回されていますが、これもキルギスの価値観の一つです。

1 ひとがやさしい

お店で民族衣装を選んでいたら、「あなたにはこれが似合う」とお客さんも店員さんもみんなでアドバイスくれる。私はボランティアで「支援する側」としてキルギスに来たけど、生活するうえでは「助けてもらう側」。このようにして生まれる小さな人と人との絆が信頼関係を作っていくと実感します。

